

姫天だより

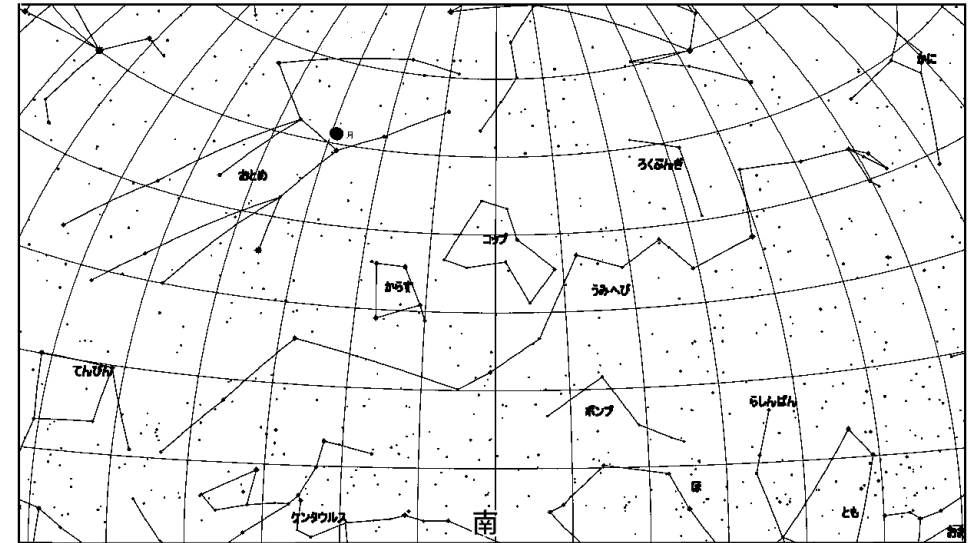
★今月のテーマ 火星と春の星座を観る会

火星は去年の接近からずいぶん遠くなってしまいましたが、夕方の西の空にまだ輝いています。表面の様子は難しくなりましたが、赤い色は確認できるので、地球のお隣の星を観てみましょう。

春の星座を私たちと一緒に探してみませんか？ 今年はい位の礼もあり10連休なんて方も見えるかもしれません。北緯27度以南へ旅行に行かれる方は、あこがれの南十字星を探してみませんか。日本だと与論島や小笠原諸島、海外ならグアム島、バリ島あたりでしょうか？ハワイでも見られますが意外と南の空低く見られる時間は短かったりします。

それぞれの季節の星座の探し方を知っておくと、旅行に出かけた時などちょっと知らない人より楽しめますよ。季節ごとに星座の見つけ方がありますので、姫治公民館天文台で、星を見ながら一緒に探し方を覚えてみませんか？

北半球であれば北斗七星は目立つし皆さんもよく知っていると思います。ひしゃくの柄の部分の星を結んでマスの外側へカーブを伸ばしていくと牛飼座の1等星アルクトゥルス、おとめ座の1等星スピカを通り少しゆがんだ台形の形に並んだカラス座にたどり着きます。このカラス座が真南にある時にその真下を探すと南十字座が見つかります。ぜひ南の方に旅行に行った時にはチャレンジしてみてください。



5月15日午後8時の南の空

5月号
2019

-次回の天文クラブ-

●5月の星を見る会

5月11日(土)午後7時30分より

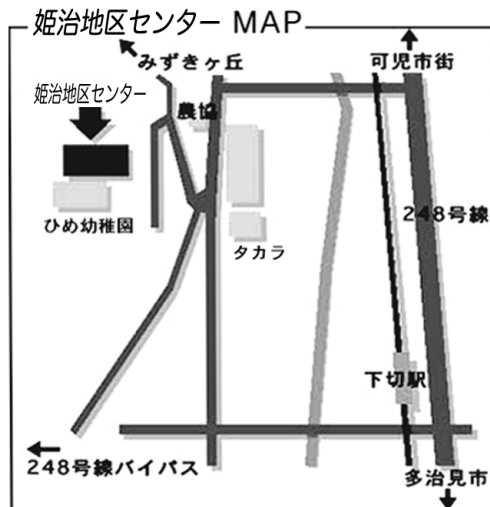
火星の観察

春の星座教室

●6月の星を見る会

6月8日(土)午後7時30分より

春の星座教室



JR太多線下切駅より徒歩13分

2019年5月1日発行

※観察時は冷えますので暖かい格好で来てください。

姫治地区センター
岐阜県可児市下切 1530
☎0574-62-0104

姫治天文台

<http://himeziten.yu-yake.com/>

※観望会についてのお問い合わせは
姫治地区センター (62-0104) まで

★今月の星座 コップ座

“うみへび座”の背中に、ちょこんと乗っているのが今月紹介する“コップ座”です。コップと言っても皆さんが普段使っているガラスのコップではなく、優勝カップのように両側に耳のついた立派な杯です。目だった明るい星はなく4等星以下の暗い星々の集まりですが、こじんまりとまとまったコップの形の良く分かる星の並びで、目が慣れてくれば比較的に見つけやすい星座の一つだと思えます。5月の上旬夜8時ころ南の空に東に少し傾いた形で見られますので、探してみましょう。

昔のエジプトでは、この星座が東の空から昇ってくるころ、増水したナイル川の水が引き始めるので、そのことと関連して重要視されていたと言われています。

この星座のカップは神話の中ではアポロン、メデア、ヘルクレス、ディオニュソス、アキレス、などが持っていたといわれていますが、太陽神アポロンの神話では、銀色の羽を持ち、人間の言葉を話せるからすが、水汲みの使いを頼まれたときに渡されたコップとされています。また、酒の神ディオニュソスの神話では、ディオニュソスがアテネに滞したとき、アテネの王イカリオスに丁寧なもてなしを受け、そのお礼に、美酒のつくりかたを伝授し、あわせてこの杯を贈ったと言われています。